

小山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	国語 I
科目基礎情報						
科目番号	0005		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	機械工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	3		
教科書/教材	『精選国語総合（改訂版）』（三省堂）、『新国語便覧』（第一学習社）、『セレクト漢字検定（三訂版）』（桐原書店)					
担当教員	山崎 明,柴田 美由紀					
到達目標						
1. ことばや文章に興味や関心を持つことができる。 2. 適切な言語をもって、思考し、判断し、表現することができる。 3. 自らの言語能力を有機的に連関させ、他者と円滑に意見交換できる。 4. 日本の伝統的な言語文化に親しみ、思考や感性に共感できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ことばや文章に積極的な興味や関心を抱くことができる。		ことばや文章に興味や関心を抱くことができる。		ことばや文章に積極的な興味や関心を抱くことができない。	
評価項目2	適切な言語をもって、正確に思考し、判断し、表現することができる。		適切な言語をもって、思考し、判断し、表現することができる。		適切な言語をもって、正確に思考し、判断し、表現することができない。	
評価項目3	自らの言語能力を有機的に連関させ、他者と極めて円滑に意見交換できる。		自らの言語能力を有機的に連関させ、他者と円滑に意見交換できる。		自らの言語能力を有機的に連関することができず、他者と円滑に意見交換することができない。	
評価項目4	日本の伝統的な言語文化に積極的に親しみ、思考や感性に十分共感できる。		日本の伝統的な言語文化に親しみ、思考や感性に共感できる。		日本の伝統的な言語文化に親しみ、思考や感性に共感することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 ⑥						
教育方法等						
概要	現代文・表現・古文・漢文をバランスよく学習し、それによって、学生の話す・聞く・書く・読むという言語活動に関わる実践的能力を磨く。また、言語を用いたコミュニケーションや日本の伝統的な言語文化に対する興味や関心を育む。					
授業の進め方・方法	授業は講義・演習形式で行う。いずれの形式であっても、学生には口頭発表や作文、板書等を通じて、自分の考えを表現する機会を設ける。また、計画的に漢字テストと速読ドリルを行い、国語の運用において必要な知識を習得してもらう。表現の授業は適宜『S メソッドによる伝え合う力のトレーニング（四訂版）』（本校教員）を用いて行う。					
注意点	前期試験（中間・期末）・後期試験（中間・期末）の平均点を70％程度、小テスト・口頭発表・課題提出物を30％程度で評価する。しかし、その他にも、授業への積極性や予習・復習への取り組み、漢検や作文コンクールへの参加や入賞なども、その内容に応じて評価に加える。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、【表現】読書体験記、【表現】インタビューゲーム		授業の進め方・評価方法を理解する。対話の方法を理解し、実践する。	
		2週	【随想】「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」①②、漢字テスト①		随想の内容を理解する。漢字能力を向上させる。	
		3週	【随想】「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」③、【表現】図書館で情報を収集する		評論の内容を理解する。図書館を利用した情報収集の仕方を理解する。	
		4週	【評論】「言語は色眼鏡である」①②、漢字テスト②		評論の内容を理解する。漢字能力を向上させる。	
		5週	【評論】「言語は色眼鏡である」③④、【読解から表現へ】要約		評論の内容を理解する。要約の仕方を理解する。	
		6週	【古文】古文入門①②、漢字テスト③		古文の基礎を理解する。漢字能力を向上させる。	
		7週	【古文】古文入門③④		古文の基礎を理解する。	
		8週	前期中間試験		これまでの範囲を理解する。	
	2ndQ	9週	試験答案の返却・解説、【評論】「情報と身体」①		試験の解答を理解する。評論の内容を理解する。	
		10週	【評論】「情報と身体」②③、漢字テスト④		評論の内容を理解する。漢字能力を向上させる。	
		11週	【評論】「情報と身体」④⑤、【読解から表現へ】比較		評論の内容を理解する。論理的表現方法について理解する。	
		12週	【漢文】漢文入門①②、漢字テスト⑤		漢文の基礎を理解する。漢字能力を向上させる。	
		13週	【漢文】漢文入門③④		漢文の基礎を理解する。	
		14週	【小説】「ゴール」①②、漢字テスト⑥		小説の内容を理解する。漢字能力を向上させる。	
		15週	前期定期試験答案の返却・解説		試験の解答を理解する。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	【評論】「『もの』の科学から『こと』の科学へ」①②③		評論の内容を理解する。	
		2週	【評論】「『もの』の科学から『こと』の科学へ」④⑤⑥、漢字テスト⑦		評論の内容を理解する。漢字能力を向上させる。	
		3週	【読解から表現へ】論理的構成、【古文】「徒然草」①②③、漢字テスト⑧		論理的表現方法について理解する。古文の内容を理解する。漢字能力を向上させる。	
		4週	【古文】「徒然草」④⑤⑥、文学史、漢字テスト⑨		古文の内容を理解する。古文の文学史的事項を理解する。漢字能力を向上させる。	

		5週	【評論】「命は誰のものなのか」①②③④、漢字テスト ^⑩	古文の内容を理解する。小説の文学史的事項を理解する。
		6週	【評論】「命は誰のものなのか」⑤⑥⑦⑧、漢字テスト ^⑪	評論の内容を理解する。漢字能力を向上させる。
		7週	【表現】意見文を書く①②③④	意見を整理して表現する方法を理解し、実践する。
		8週	後期中間試験	これまでの範囲を理解する
	4thQ	9週	試験答案の返却・解説 【小説】「羅生門」①②③、漢字テスト ^⑫	試験の解答を理解する。小説の内容を理解する。
		10週	【小説】「羅生門」④⑤⑥⑦、漢字テスト ^⑬	小説の内容を理解する。
		11週	【小説】「羅生門」⑧、【漢文】故事成語①②、漢字テスト ^⑭	小説の内容を理解する。漢文の内容を理解する。漢字能力を向上させる。
		12週	【古文】「小倉百人一首」かるた①②、【漢文】故事成語③④、漢字テスト ^⑮	日本の伝統文化を楽しむ。漢文の内容を理解する。漢字能力を向上させる。
		13週	【漢文】漢詩①②③④	漢文の歴史的背景および内容を理解する。
		14週	【評論】「なぜ私たちは労働するのか」①②③④	評論の内容を理解する。
		15週	【評論】「なぜ私たちは労働するのか」⑤⑥、総括	評論の内容を理解する。1年間の学習を総括する。
		16週	後期定期試験答案の返却・解説	これまでの範囲を理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	1	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	1	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	1	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	1	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	1	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	1	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	1	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	1	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	1	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	1	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	1	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	1	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	1	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	1	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	1	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	1	

				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	1	
評価割合						
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0